

12月

えんだよい



倉敷市くすのき園 086-429-1391

今年もいよいよ最後の月になりました。暖かい秋を過ごし、これから寒い冬がやって来ますね。外は寒いけれど、くすのき園ではみんなの笑顔と笑い声でここもからだもぽっかぽかになって元気に過ごしましょうね。

月	火	水	木	金
			1 小児科診察	2 ST わらべうた 整形診察
【保育活動】				
5	6 親子マッサージ	7	8 小児科診察	9 整形診察
【保育活動】 ごっこあそびをしよう (12/1~)				
12 身体測定→ 重松先生が来園されます	13	14 誕生日会	15 小児科診察	16 整形診察
【保育活動】 もうすぐ楽しいクリスマス				
19 寄付贈呈式	20 クリスマス会	21 見え方相談 わらべうた	22 親子マッサージ 小児科診察	23 天皇誕生日
【保育活動】 親子で楽しみましょう				
26	27 ST	28	29 年末年始休み ~1/3まで	30
【保育活動】 もういくつねるとお正月				

1月の予定

わらべうた 5日、17日
親子マッサージ 13日、25日
見え方相談 19日
ST 11日、26日



お知らせ

- ・引き続き懇談を行いませんのでよろしくお願いします。
- ・12/12(月)に重松先生が来園されます。コミュニケーション面の発達の相談を専門とされていますので、ご希望の方は職員まで声をかけてください。
- ・12/26~1/6まで放課後児童デイサービスがありますので、保育士、看護師が1名ずつそちらの担当になります。よろしくお願いします。
- ・感染症が流行る季節です。体調が整わない時は無理をせずに家でゆっくり過ごしましょう。咳や痰が多い時も、集団の場であることを考慮して頂き、判断をよろしくお願いします。

“冷えとり”のお話②

10月号のお話の続きです。前は冷えってどういうことか、冷えとりはどうやってするのかのお話をしました。今回はちょっと難しいですが、冷えとりでの身体のとらえ方についてお伝えしたいと思います。冷えとりは東洋医学の陰陽の考え方を基本にしているとのこと。身体は臓器(五臓:肝臓、心臓、すい臓、肺、腎臓)、器官(胆のう、小腸、脾臓、胃、大腸、膀胱)ひとつひとつが独立して働いているのではなく、それぞれが補ったり、攻めあったりしながら身体が保っていけるように働いています。

身体に毒(ゴミ)が溜まるとさまざまなサインで身体に症状が出ます。たとえば花粉症。花粉症は肝臓の毒出しの症状とされています。そして、肝臓は春によく毒を出すということで、春に花粉症になる人が多いということです。春の花粉症を楽にするには、今(秋)から冷えとりをするといふことです。秋に毒出しをする臓器は肺。肺の毒出しとして皮膚や粘膜に湿疹や発疹が出たり、咳や痰として出るということです。出てくるものは出きるまで出させるというのが冷えとりの考えです。

ここでもう少し、込み入った話になるのですが、咳や鼻水が出るのは肺からの毒を出しているだけではなく、身体は一つの臓器だけで対応できなくなると、補ったり、攻めたりします。肺は夏の暑さにつかれた心臓から攻められたり、冷えに弱い腎臓の働きを助けるために働くとも言われています。咳や鼻水が出るのは、肺に問題があるというだけではなく、心臓や腎臓に毒が溜まっているということも考えられます。

人の身体は臓器のより合わせではなく、感情や性格も含めてそれぞれが関わっていて、ひとりの人ができあがっているんだと思います。

Ns, A. R



椅子の掃除をよろしくお願いします!!



今月の写真

落ち葉とみのむし (園児作品)



6月に植えたさつまいもの収穫をしました! 採れたおいもで七五三ごっこをしました!!

